

東京教区時報

第1126号
2009年6月7日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇6月の代拝・信施奉献先
▽野宿生活者の休息施設のため(きぼうのいえ)▽東京教区神学生のため(聖霊降臨後第2主日6・14)▽沖縄教区のため▽沖縄週間(6・21〜27)▽エリザベスサンダースホームのため

▽浦安セミナーオキリスト教基礎講座(横浜教区浦安伝道所主催) 講師に聖公会神学院校長広谷和文司祭を迎えて、前期はパウロが伝えた福音のガラテヤの信徒への手紙I・II(6月20&27日(土)14時半。会場)J.R.京葉線新浦安駅前WAVE101市民サロン。受講料3千円(後期)アツバのふところ(10月3・17・31日各土曜3回を含む全5回分)、1講座8

今週・来週の予定

6月7日~20日

- 7(日) 三位一体主日・聖霊降臨後第1主日
主教巡回
聖アンデレ教会
- 8(月) 正義と平和協議会運営委員会
銀座朝拝会
- 9(火) 常置委員会
- 10(水) 広報委員会
- 12(金) 主教巡回 滝乃川学園
聖三一礼拝堂
- 13(土) 聖霊降臨後第2主日
主教巡回
聖バルナバ教会
- 14(日) エ教区協働委員会
常置・聖教主福社会合
財政委員会
- 15(月) 主教会(〜18)(ナザレ)
人権委員会(聖バルナバ)
IT特別委員会
- 16(火) 教役者レクイエム
礼拝音楽委員会
墓地礼拝主任者連絡会
- 17(水) 人権: 日の丸・君が代
- 18(木)

百円(代理聴講可)。照会・申込
事務局・同伝道所TEL047(354)2516。
▽ランチタイム・オルガンコンサート *聖パウロ12日(金)12時20分、清沢紀久 *聖テモテ16日(火)12時30分、向井泰子 *神田キリスト17日(水)12時20分、和田純子(それぞれ30分程度)

▽銀座朝拝会 9日・23日(第2・4火曜)7時半、ルノール喫茶室ニュー銀座。
▽西新の会 9日(火)19時半・聖餐式(高橋顕司祭)、23日(火)10時半・聖書の学び(関正勝司祭)。
◆とこしえの平安
5月22日 大畑 良子(62)
八王子復活

常夏の島小笠原村父島に1922(大正11)年誕生。当時は軍国主義の日本国、その中で教育を受けて育ちました。祖母が仏教に熱心でしたのであちこち連れ回され、ご先祖様のお参りが好きな孫娘にさせられました。すでに小笠原聖ジョージ教会はごさいまして、在来島民(欧米系)の方々が毎日曜、盛装で教会へ行く光景を記憶しています。
1941(昭和16)年大東亜戦争になり、島民約8千人は1944(昭19)年を最後として全員強制疎開の憂き目にあい、やがて終戦。在来島民の者は終戦1年位で帰島することができましたが、小笠原村が返還になったのは1968(昭43)年。荒れ果てた故郷で日本国の行政が動き始めました。40代で

《み手のなかで》

小笠原の歴史と共に

セイボレーみき子

故郷へ帰島しましたが、それには結婚の話もあり、小笠原諸島返還結婚第1号として結婚したものの家庭内は英語と日本語でどうやらの、毎日4人世帯の暮しでした。
先ずは亡夫と日曜の礼拝。賛美歌を覚え、世界中をお助けいただいているイエス様のお勉強。以来こととして40年になり、遅まきながら「恵みは人に与えるもの」お祈りは人と自分に与えるもの」と私なりに考え、毎日を健やかに過ごさせていただいております。不幸なお子さまにせめて1日1枚のパンを、それを日ごとの祈りとしていきます。秋の日本聖公会宣教150周年記念礼拝には上京できればとのお話も出ております。
感謝。
(小笠原聖ジョージ教会信徒)

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

◇委員長人事

司祭下条裕章 教財務サービ
ス委員会委員長解任(5月20日)
執事 中村 淳 同委員会委員
長委嘱(5月21日)

信仰と生活委員会報告

(5月21日)

*6月信徒講座(雨宮慧神父)
の役割分担の確認。

*管区日韓聖公会青年セミナー
(8月13日～18日・ソウル他)へ
の青年支援部会による呼び掛け
と、参加費支援を協議。

*夏季キャンプ(8月21日～24
日・戸隠)の支援(中高生支援
部会)を協議。

*宣教150周年記念礼拝で子
どもたちによる聖歌奉唱の企画
報告と、中高生会を視野に入れ

た活動報告(教区SSS)。

*秋季運動会開催の企画を検討
(青年・中高生両部会)。

*その他、諸報告と協議。

▽日本聖公会第1回韓国スタ

ディツァー(管区正義と平和委
員会主催) 6月8日～12日

(月～金)、ソウル教区内で行っ
ている多様な社会宣教プログラ
ムへ参加学習。教区からは前田
良彦・下条裕章両司祭が参加。

▽聖公会女性フォーラム(第
17回) 主題「わたしたちのか

らだく取りなさい。これはわた
しの体である」。12日～13日
(金・土)、聖バルナバ教会・管
区事務所。教区内外から約40人
が参加する。同フォーラム準備
会主催。

▽超教派教会音楽祭(第29

回)「わたしたちを誘惑におち
いらせず かえって悪からお救
いください」 21日(日) 15時
～17時、カトリック東京カテド
ラル聖マリア大聖堂。聖公会(教
区聖歌隊)など8教派が参加。

今回は聖公会が幹事教派で、説
教は植田仁太郎教区主教。無料
(席上献金)。照会等は教区礼拝
音楽委員長・宮崎光司祭宛 0
424(93)7472。

▽外濠教会グループ講演会

「愛の諸相く聖書における愛と、
さまざまな愛のかたち」 21日
(日) 14時～16時、聖バルナバ教
会。講師・加藤隆教授(千葉大
学文学部・神学博士)。入場無
料。照会 03(32
68)8067。

【クローズアップ】16

島原・天草に旅して

BSA研修企画

BSA研修旅行で5月14日から
2泊3日、九州の島原・天草地方
を訪ねました。毎年参加者が増
え、今年はバスの座席数を超える
応募があり、46人の大所帯となり
ました。島原・天草は研修旅行と
しては二度目の訪問です。今回特
筆すべきは指導講師の国見登先生
に加え、お仲間の島原半島クリシ
タン研究会の方や島原市教育委員
会歴史学芸員の方に、国指定史蹟
の原城跡内でいまま進展中の発掘
現場や、数々の新たな発見につき
直接ご指導を受けて見聞出来たこ
とです。

島原の乱といえば、天草四郎を
頭とするクリシタンの一揆による

叛乱とのみ解釈されがちです。し
かし実は、島原藩主松倉氏と天草

の一揆に始まり、元々叛乱の教えの
ないクリシタンが巻き込まれた結
果統制の取れた集団となつて、
更には関ヶ原以降に廃絶になった
大名家の浪人武士団が作戦を指揮
した、とするのが最近の説のよ
うです。事実、現地を訪ねて、山
と海に囲まれ、水田がほとんどな
いこの地の農民にとつて、米と苦
役の重税が如何に過酷なもので
あったかを肌で感じました。

BSA研修旅行は、先達クリ
シタンの信仰と受難の歴史を学
ぶべく、伊達宗浩前会長が企画
された成人のためのプログラム
です。BSA評議員でクリシタ
ン研究者として著名な元立教中

学校長国見登先生(前述)を指導
講師に戴き、1992年に第1回
を実施して以来25回を超えてお
り、九州から北海道松前までほぼ
日本全国にわたるクリシタン受難
の跡を巡礼して来ました。いづれ
の旅にあつても拷問、仕置き、遂
には殉教した信徒、宣教師達の姿
に強い感銘を受け、自らの信仰を
深く反省させられる旅でした。

秀吉から維新後の明治6年(1
873年)まで続いた弾圧と殉教
の歴史は、世界キリスト教史の中
でも貴重な受難史です。私達はこ
のことを正しく、クリスト者とし
て、後世に伝えていく使命を負っ
ているのだと、悟らされた研修旅
行の数々でした。

日本聖徒アンデレ同胞会(BSA)

会長 寺内安彦